

## サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づいたこと、聞いたことなど、お伝えしたいと思います。何かお役に立てれば嬉しいです。

本当に気持ちの良い過ごしやすい日が続きます。今月は15日・16日と2日連続で結婚式がありました。どちらも笑顔の素敵な美しい花嫁さんでした。

いろんな方がスピーチでおっしゃっていたのは、「夫婦円満の秘訣は、お互いの立場を理解し、互いを思いやり、助け合っていくことだと思います。」ということです。明るく思いやりにあふれる家庭を築いてください。



さて、今月もサロン様で感じたことを掲載させていただきます。

### ■決めつけてはいけない

広島市内の某サロンオーナー様から聞いた話です。いつもご来店いただいている男子学生さんとの出来事です。

普段は男の学生さんなので、ヘアケア商品の話などしたことがなく、ヘアスタイルの話と世間話ばかりしていたそうです。

取り扱っているヘアケア商品は、中野製薬のラデュラで、学生さんには高く、説明しても購入されることは難しいと決めつけていたそうです。

先日、その学生さんがお見えになられ、その日は、額の皮脂のテカリがとても気になったので、お伺いしたところ、

実は以前からとても気になっていたそうです。頭皮やお手入れに関する事をいろいろと質問され、結局、頭皮用のシャンプー、トリートメント、育毛剤の3点を買って帰られたそうです。

このお客様から改めて学んだことは

- ・自分が勝手に決めつけてはいけないこと
- ・気づいてあげること
- ・お客様を良く見てあげること
- ・遊びの話ではなく、ヘアの話は必ずすること
- ・商品の話ではなく、お客様が気になることを解決してあげること

「お客様を助けてあげること」ができて、本当に良かった。いつもこの様な仕事をして行きたいと感じられたそうです。

### ■徳のある店長

山口県の某サロン様のベテラン店長の話です。その日は、オーナー不在で、店長と話をしておりました。

話が終わると、店長が、スタッフ全員を集めて、当社から購入した洗い流さないトリートメントのキャンペーンをやっているのに

「キャンペーンに参加していない人がいる。」

「みんなで決めたんだから全員でやろうよ。」

特に若手のスタイリストには

「私らと違って、凄くカッコいいスタイルをつくるし、本当に素晴らしいと思うよ。だから、何で紹介してあげないの、本当にもったいないと思うよ。」

と言っておられました。

追加注文もあり、一週間後におじゃましたら、翌日13本販売できたそうです。

人間は「意識で変わる」「本気になる」と変わる。「力を合わせればもっと変わる」ことを実感しました。

そして、オーナーが言いたいことを代弁してくれる店長、徳があるからこそスタッフみんなの心に火がついたのだと思います。

後日、オーナーに伝えしたところ、「本当に良くやってくれるんですよ。財産です。」と言っておられました。

### ■人を育てる

広島県の某サロンオーナー様との話です。現在、スタッフ数3.5人のサロン様ですが、来年、新人を採用されます。

オーナーは採用にあたって、お客様にエネルギー、活力、元気を与えらるエネルギーなスタッフに育てエネルギーなサロンにして行きたい。

そのためには、一人前になるまでは、毎日、夜遅くまで教育を徹底して行う。

毎日、一所懸命練習しているスタッフがシャンプーをすれば、お客様にエネルギーは必ず伝わります。

オーナー自身も新人の時、店長に毎日夜遅くまで熱心に指導していただいたことが今日の自分に大きな財産として残っている。今度は私がしてあげる番だとおっしゃってました。

今月もいろんな気づきをいただきありがとうございました。

『致知』2011年11月号

特集「人生は心一つの置きどころ」より

①伊与田覚氏の巻頭の言葉「水到れば渠成る」

②京セラ相談役 伊藤謙介氏

「はじめにフィロソフィーあり」のインタビュー記事の二つの記事を掲載させていただきます。

### ■伊与田覚氏の巻頭の言葉より

(略)かつて私は、あるものをつくろうと思い随分苦心をしたことがあります。ちょうどその時、久しく親炙(しんしゃ)を賜っていた安岡正篤先生が私の地元、大阪に来られたので、厚かましく助言を求めに参りました。「先生、私の思うものはどうしたらできるでしょうか。一句で成るような言葉はございませんか」

と尋ねると、先生はすぐに筆を執られて、

「水到渠成」(すいとうきよせい)

の四文字を半切(はんせつ)に揮毫(きごう)してくださいました。そして、

「水到れば渠成る。あまり深く考えずとも、水が来れば自然に溝ができるものだよ」

とおっしゃいました。

お礼を述べて辞去した後、これにはきっと深い意味があると思い辞書を引いてみたところ、水という字には徳という意味もあることが分かりました。つまり、徳を積みば自ずと事は成るものであり、先生は、おまえにはまだ徳が足りないから、慌ててもものをつくろうとしてもできないのだと示唆されたのです。

以来私は、己の徳を高めるべくひたすら努力を積み重ねてきました。

腹に一物あつては、いくら善を積んでも本当の徳は備わりません。逆に「水去れば渠敗る」(水がなくなれば溝も自らなくなる)で、徳がなくなればせつかくつくったものも失われてしまいます。

報いを求めずに積み上げていくものこそが、本当の特に繋がることを心しなければならぬと思います。

### ■京セラ相談役 伊藤謙介氏

「はじめにフィロソフィーあり」のインタビュー記事より  
「企業業績と経営者の全人格はイコールだ」

全従業員の意識の集約したものが会社というものであり、それを少しでも高い次元のものとするためには、まずその会社を率いるリーダーの人間性を高めなければなりません。リーダー＝フィロソフィという意識を持たなければならぬと思います。

「リーダー＝フィロソフィだ」と。

そのことに関連して、社長時代に強く印象に残っていることがあります。

バブル崩壊による不況の時に、なかなか思うように業績が伸びずに、稲盛に相談に行ったことがありました。そうしたら稲盛に「企業業績と経営者の全人格はイコールだ。会社の業績はあなたの全人格のそれ以上でもそれ以下でもない」と諭されました。

「業績イコール経営者の全人格だ」と。

厳しい言葉でしたが、改めて己を振り返ってみると、

なるほどなあと納得できました。本当に社員を魅了するような魅力が自分にあったか、自分を尊敬してついでくれる社員がどれだけいたか。自分はまだまだだったなあと。それが業績に影響していたのかもしれない。

ただ、自分の器量をいかに大きくするかという課題に、これだという解はありません。やはり日々真剣に生きる以外にない。自分の生き方そのものが立派でなければ社員はついてきてくれません。

指針となったのはやはり京セラフィロソフィでしたが、中でも特に心掛けてきたのが、努力、忍耐、執念、そして闘争心に関わる教えでした。

そんなものはいらない、企業経営というものはもっと論理的なものだという人もいますが、実際に創業時を体験し、様々な試練の中で経営に邁進してきた私の実感として、やはり経営はそうした心の持ち方に留意せずには成り立たないと思います。

「若い社員の方によく説いておられることはありますか。」

私は稲盛から夢を持たせてもらいましたが、やはり明確な夢や目的意識を持って仕事をする事が大事です。これに関連して、最近よく言っているのは、人間の本質は生と死の狭間にこそあるということです。

「生と死の狭間にあると。」

私は二、三年前に糖尿病で二週間ほど入院したことがあるんですが、私のいた病棟は重病でいまにも死にそうな人ばかりでした。しかし、わずか五メートルしか離れていない隣の病棟は産婦人科で、新しい命の誕生を喜ぶ声が絶えず聞こえてくる。私はそこで、その五メートルがまさに人生を象徴している、人生というのはこの五メートルの狭間にしかないのだと痛感しました。

若い人は漠然と、人生はいつまでも続くと思っているもの

のですが、実はそう長くはありません。きょうやるべきことを明日やりますと言って、それを五回繰り返せばもう一週間で終わります。同様に来週やりますと四回言えば今月が終わり、来月やりますを十二回で一年が終わり、来年やりますと三十回言ったらもう定年。あつという間の人生じゃないかと。お互いにもっと一瞬一瞬を大切に仕事をしようと社員によく話をするんです。

どちらも経営者にとって欠かせないものは、「徳」だと言われていますが、これは経営者だけでなく全ての立場の人に言えることだと思います。

### ●稲盛経営12カ条

1. 事業の目的、意義を明確にする  
公明正大で大義名分のある高い目的を立てる。
2. 具体的な目標を立てる  
立てた目標は常に社員と共有する。
3. 強烈な願望を心に抱く  
潜在意識に誘導するほどの強く持続した願望を持つこと。
4. 誰にも負けない努力をする  
地味な仕事を一步一步聖実に、弛まぬ努力を続ける。
5. 売上を最大限に伸ばし、経費を最小限に抑える  
入るを量って、出づるを制する。利益を逃うのではない。利益は後からついてくる。
6. 値決めは経営  
値決めはトップの仕事。お客様も喜び、自分も儲かるポイントは一点である。
7. 経営は強い意志で決まる  
経営には岩をもうがつ強い意志が必要。
8. 燃える闘魂  
経営にはいかなる格闘技にもまさる激しい闘争心が必要。
9. 勇気をもって事に当たる  
忠怯な振る舞いがあってはならない。
10. 常に創造的な仕事をする  
今日よりは明日、明日よりは明後日と、常に改良改善を絶え間なく続ける。創意工夫を重ねる。
11. 思いやりの心で誠実に  
商いには相手がある。相手を含めて、ハッピーであること。皆が喜ぶこと。
12. 常に明るく前向きに、夢と希望を抱いて素直な心で